

「魚介類」の輸出

～2025年 長崎県での輸出額が過去最高を更新～

0 はじめに

長崎県は、九州の西北部に位置し、広大な大陸棚を有する東シナ海に面し、島・半島が多く、全国でも有数の水産県となっています。恵まれた環境を生かした養殖業も盛んであり、くろまぐろ、まだい、ぶりなどが生産されています。

貿易統計を見ると、2025年は長崎県からの「魚介類」の輸出額が55億33百万円となり過去最高を更新しました。なかでも、そのほとんどを占める「活魚」の輸出額は55億26百万円であり、こちらも過去最高を更新したことから、今回は魚介類の輸出について取り上げました。

- (注1) 本特集において、「魚介類」とは、統計品目番号03類に該当する品目をいい、統計品目番号03.01に分類される「生きている魚」を「活魚」と表しています。
- (注2) 生きているぶり（以下「活ぶり」といいます。）は、統計品目番号0301.99-200〔ぶり（セリオーラ属のもの）〕についてまとめたものであり、当該統計品目番号は2022年の統計品目改正により新たに設定されたものです。そのため、2021年以前の活ぶりの実績は、0301.99-900（2002年～2021年）、若しくは0301.99-000（2001年以前）に含まれ、個別の集計はできません。
- (注3) 本資料において、長崎県内の貿易額は、長崎税関本関、佐世保税関支署、長崎空港出張所及び門司税関厳原税関支署が管轄する区域に蔵置された貨物の通関額としています。
- (注4) 本特集において、「過去最高」とは、比較可能な1979年以降の実績です。
- (注5) 統計数値は、2024年までは確定値、2025年は確々報値です。

本資料に関する問い合わせ

長崎税関 調査部 調査統計課
電話 095-828-8659（直通）
メール nagasaki-toukei@customs.go.jp

〒850-0862 長崎市出島町1番36号
長崎税関ホームページ <https://www.customs.go.jp/nagasaki>



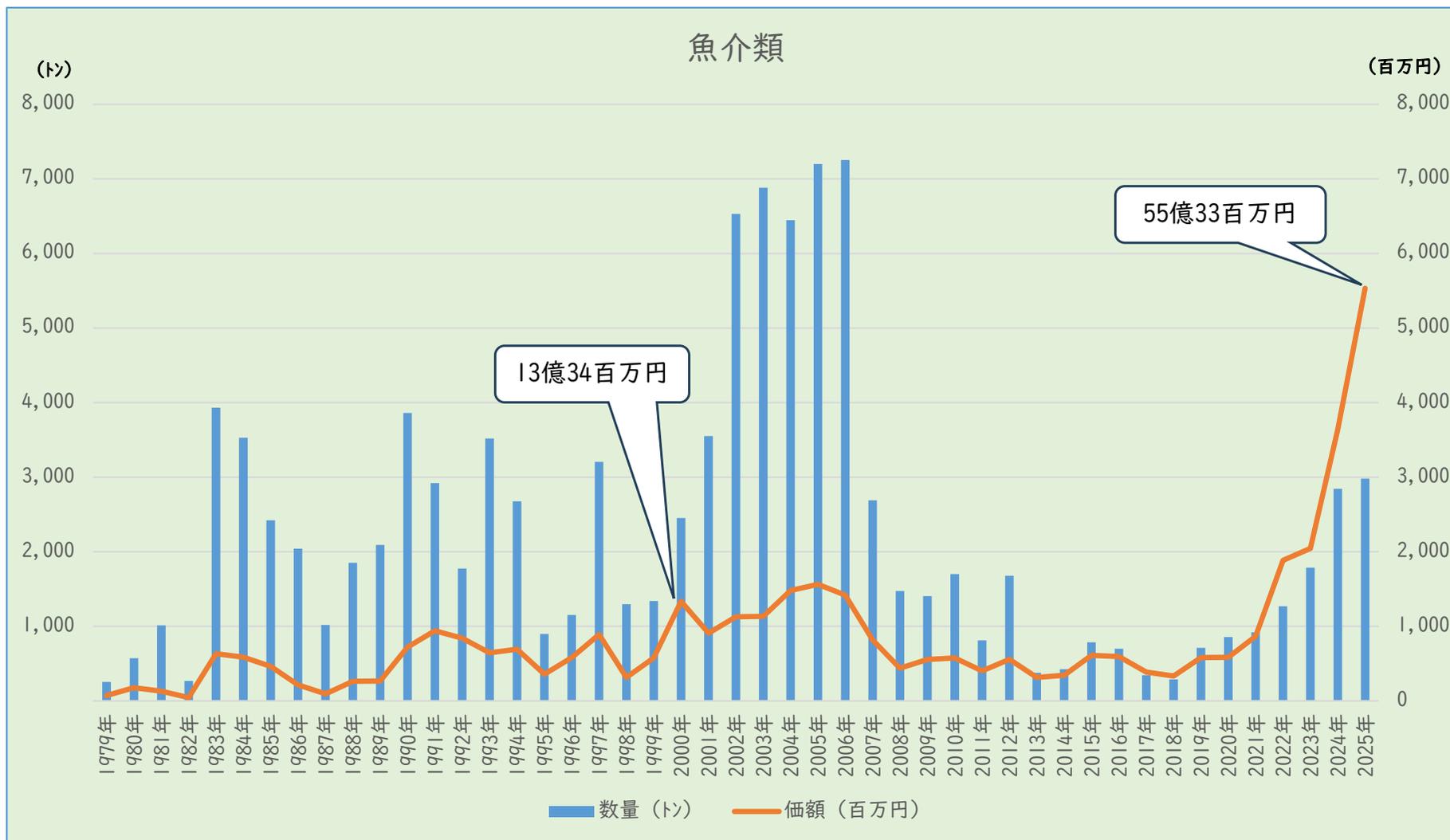
※ 本資料を他に転載する時には、長崎税関の資料による旨を必ず注記して下さい。



1 長崎県における魚介類の輸出動向

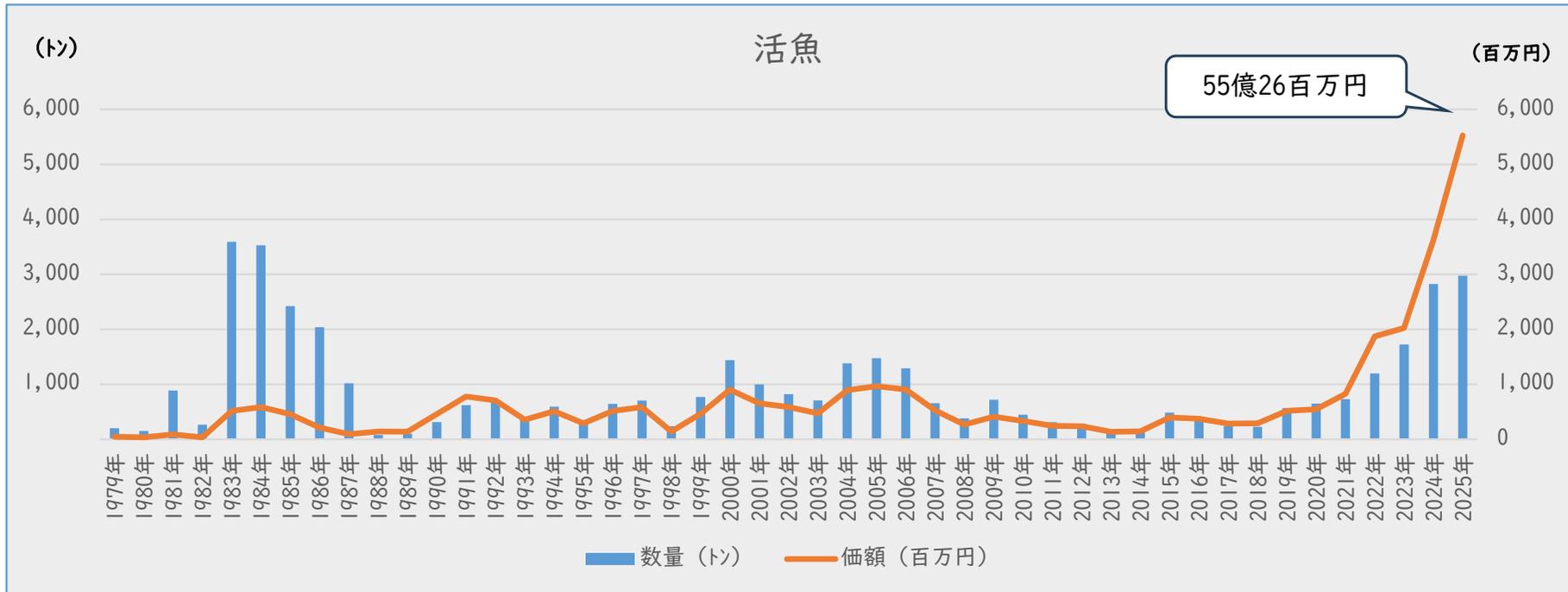
長崎県における「魚介類」の輸出額は、統計が遡れる1979（昭和54）年には74百万円でした。その後、2000（平成12）年には13億34百万円となり初めて10億円の大台を超えました。

2025（令和7）年の輸出額は、**過去最高**の55億33百万円となり、1979年に比べ約74.7倍に増加しています。



2 長崎県における活魚・活ぶりの輸出動向

長崎県における「活魚」の輸出額の推移を見てみると、近年まで数量は大幅に増減していても価額はそれほど大きな変動はなかったものの、2022年あたりから数量と価額が比例して増加しています。



「活魚」のうち「活ぶり」の輸出額をみると、2025年は2,955トン、55億06百万円と、こちらも過去最高を更新しました。

※ 2021年以前については、活ぶり単独での輸出実績は分かりませんが、2021年以前において、活魚全体での輸出額が最も多かったのは2005年の9億65百万円であり、2022年の活ぶりの輸出額がこれを上回っていたことから、2025年の活ぶりの輸出額は過去最高としています。



3 2025年の魚介類の輸出状況

2025年の長崎県における「魚介類」の輸出のほとんどが「活ぶり」です。

数量については前年とそれほど変わりませんが、価額は前年比150%超となっていることから、取引価格が上昇していることがわかります。

次に、輸出相手国をみると「活魚」はすべて韓国となっています。韓国では活魚を刺身にして食べる習慣があるため、活魚の形態による輸出が多かったのではないかと考えられます。

全国的に見ても「活ぶり」の輸出先は韓国のみで、長崎県、愛媛県、大分県、鹿児島県などから輸出されています。中でも長崎県は全国シェア46.7%を占めています。

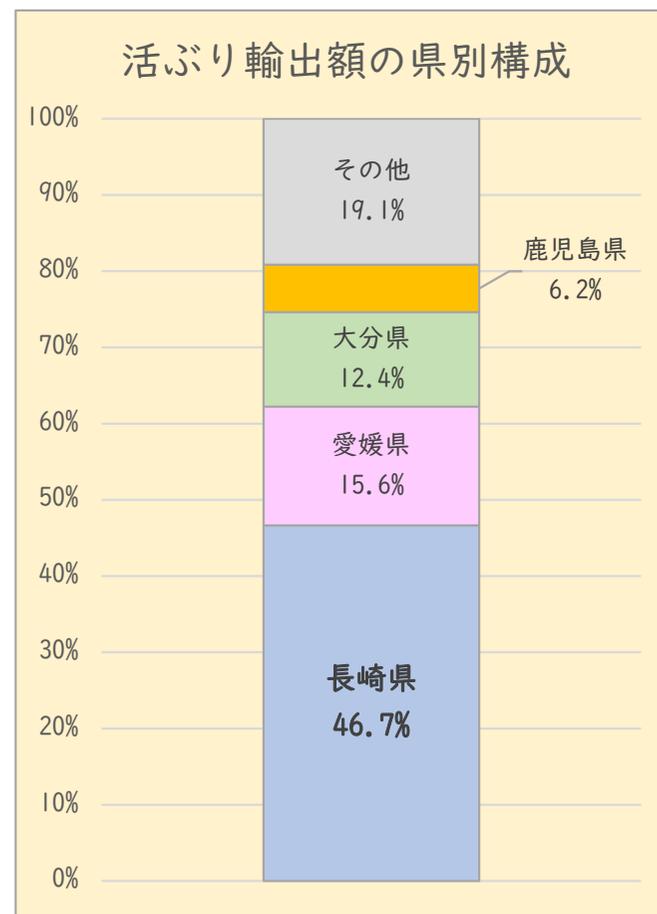
魚介類の輸出実績（2025年、長崎県）

	数量（トン）	前年比	価額（千円）	前年比
魚介類	2,982	104.8%	5,532,504	152.1%
活魚	2,974	105.3%	5,526,210	152.3%
活ぶり	2,955	105.9%	5,505,627	153.3%
活たい	2	16.3%	2,156	14.3%
その他	17	83.3%	18,427	87.1%

魚介類の輸出相手国（2025年、長崎県）（単位：千円）

	大韓民国	ベトナム
魚介類	5,526,210	6,294
活魚	5,526,210	0
活ぶり	5,505,627	0
活たい	2,156	0
その他	18,427	0

※ 魚介類のベトナム向けは、0304.99-000（冷凍された魚肉）

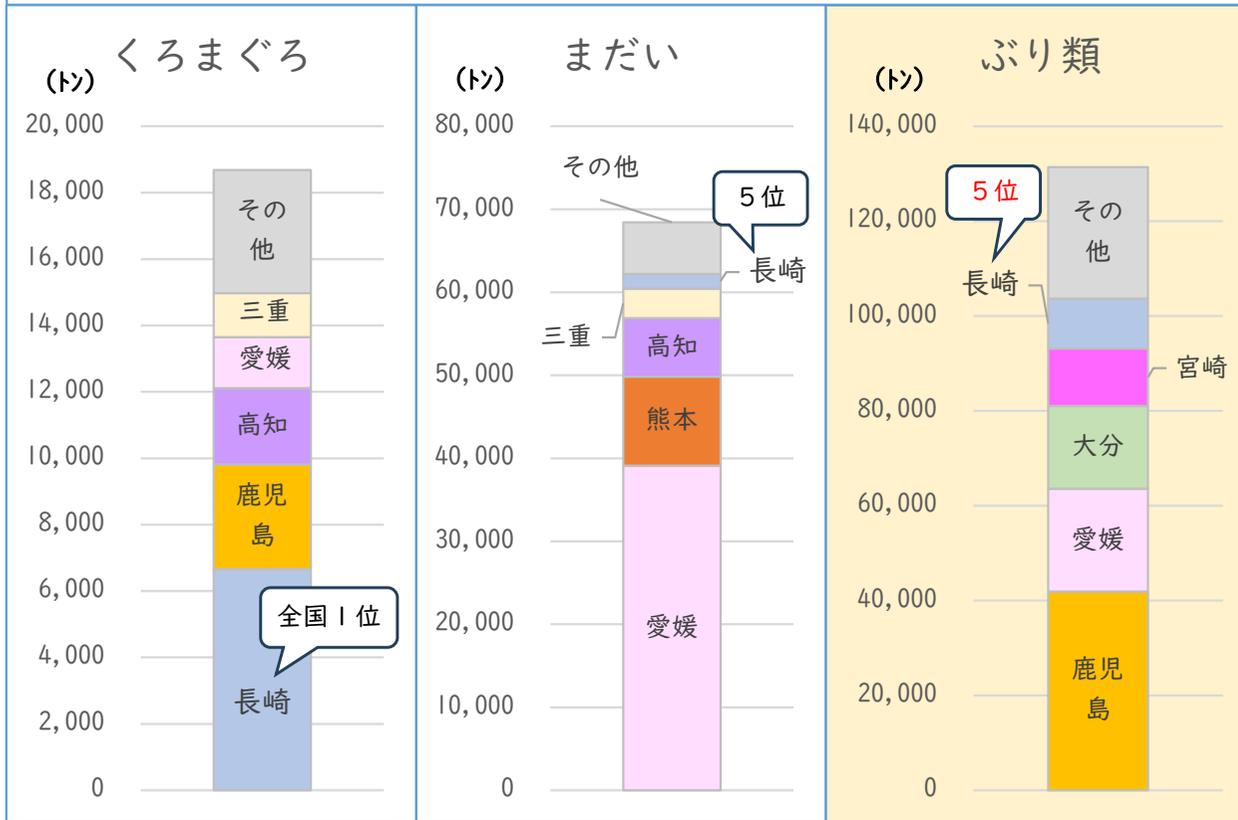


4 長崎県における養殖魚生産量

農林水産省発表の令和6年漁業・養殖業生産統計（2026年2月公表）によると、長崎県の養殖魚の収穫量は、くろまぐろが全国1位、まだいが5位、ぶり類は鹿児島、愛媛、大分、宮崎に次いで第5位となっています。

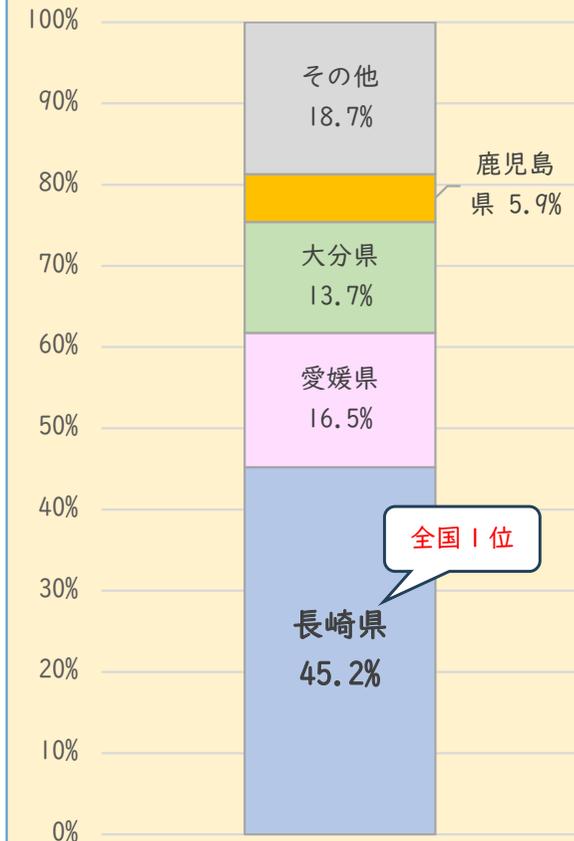
一方、2025年の輸出量は、長崎県での活くろまぐろの輸出はゼロ、活たいの輸出実績は約2トンとほんのわずかしかなかったが、**活ぶりは長崎県が45.2%を占めており全国1位**となっています。

海面養殖魚 県別収穫量（2024年）



海面漁業生産統計調査/確報（令和6年漁業・養殖業生産統計）より作成

活ぶり輸出量の県別構成



5 あとがき

長崎県における活魚の輸出は、2022年に過去最高額を記録し、その後毎年、過去最高額を更新しています。輸出先は韓国が中心であり、同国の生食文化と、活魚の品質を維持したまま輸送できる地理的優位性が、当該分野の拡大を後押ししていると考えられます。

また、県内では産学官連携の枠組みのもと、「ながさきBLUEエコノミー」を通じ、環境配慮型の養殖、ブランド戦略、品質保証体制の一層の高度化が推進されており、これらの施策は中長期的な輸出競争力の強化に資するものと期待しています。さらに、同取り組みのもとでは、完全人工養殖の「JAPAN鯡」の開発も進められており、将来的な主力商品としての成長が期待され、県のぶり養殖の新たな展開を示す取り組みとなっています。（長崎大学による公表内容）

総じて、長崎県における活魚の輸出、なかでも活ぶりは、2025年において数量・価額とも活魚全体の大半を占めており、既存需要の堅調さと政策的後押しを背景に、引き続き高い成長余地を有しており、今後の動向を注視していきたいと思っております。

ぶりは調理法で味わいがガラッと変わる、とても万能な魚だワン！
刺身、ぶりしゃぶ、照り焼き、ぶり大根、カルパッチョ、竜田揚げなどいろいろあるワン♪



6 輸出統計品目番号の変遷（その1）

輸出統計品目番号は必要に応じ改正が行われており、「活魚」に関しても例外ではありません。「活魚」に該当する「0301項」に係る改正の変遷は以下のとおりとなっています。

○ 1983年版

番号	細分番号	品名
03.01		魚（生きていないものにあつては、生鮮、冷蔵又は冷凍のものに限る。）
		- 生きているもの
	111	-- 金魚
	119	-- その他のもの
		- 生鮮又は冷蔵のもの（フィレーを除く。）
		~~以下、省略~~

○ 1988年版

番号	細分番号	品名
03.01		魚（生きているものに限る。）
0301.10		- 観賞用の魚
	100	-- 金魚
	900	-- その他のもの
		- その他の魚（生きているものに限る。）
0301.91	000	-- ます（サレ・トルダ、サレ・ガルト・リ、etc）
0301.92	000	-- うなぎ（アグ イラ属のもの）
0301.93	000	-- こい
0301.99	000	-- その他のもの

○ 2003年版

番号	細分番号	品名
03.01		魚（生きているものに限る。）
0301.10		- 観賞用の魚
	100	-- 金魚
	900	-- その他のもの
		- その他の魚（生きているものに限る。）
0301.91	000	-- ます（サレ・トルダ、ワコルヒュクス・ミクス、etc）
0301.92	000	-- うなぎ（アグ イラ属のもの）
0301.93	000	-- こい
0301.99	100	-- たい
	900	-- その他のもの

○ 2007年版

番号	細分番号	品名
03.01		魚（生きているものに限る。）
0301.10		- 観賞用の魚
	100	-- 金魚
	900	-- その他のもの
		- その他の魚（生きているものに限る。）
0301.91	000	-- ます（サレ・トルダ、ワコルヒュクス・ミクス、etc）
0301.92	000	-- うなぎ（アグ イラ属のもの）
0301.93	000	-- こい
0301.94	000	-- くらまぐろ（トリス・テイヌ）
0301.95	000	-- みなみまぐろ（トリス・マコイ）
0301.99	100	-- たい
	900	-- その他のもの

○ 2012年版

番号	細分番号	品名
03.01		魚（生きているものに限る。）
0301.10		- 観賞用の魚
	100	-- 淡水魚
	100	--- 金魚
	900	--- その他のもの
0301.19	000	-- その他のもの
		- その他の魚（生きているものに限る。）
0301.91	000	-- ます（サレ・トルダ、ワコルヒュクス・ミクス、etc）
0301.92	000	-- うなぎ（アグ イラ属のもの）
0301.93	000	-- こい（キョリヌ・カビオ、カシウス・カシウス、etc）
0301.94		-- くらまぐろ（トリス・テイヌ及びトリス・オエンリス）
	100	--- くらまぐろ（トリス・テイヌ）
	200	--- くらまぐろ（トリス・オエンリス）
0301.95	000	-- みなみまぐろ（トリス・マコイ）
0301.99		-- その他のもの
	100	--- たい（たい科のもの）
	200	--- こい
	900	--- その他のもの

個別に集計できる品名（魚の種類）は増えてきているワ。2003年から「たい」の輸出額を集計できるようになっているワ。



6 輸出統計品目番号の変遷（その2）

○ 2018年版

番号	細分番号	品名
03.01		魚（生きているものに限る。）
		－観賞用の魚
0301.11		－淡水魚
	100	－金魚
	900	－その他のもの
0301.19	000	－その他のもの
		－その他の魚（生きているものに限る。）
0301.91	000	－ます（物ネ・トルダ、ワコルヒュクス・ミクス、etc）
0301.92	000	－うなぎ（アング・イルラ属のもの）
0301.93	000	－こい（クテリアリョゴド・ン・イデ・ルス、etc）
0301.94		－くろまぐろ（トクス・テイヌス及びトクス・オエンタリス）
	100	－くろまぐろ（トクス・テイヌス）
	200	－くろまぐろ（トクス・オエンタリス）
0301.95	000	－みなみまぐろ（トクス・マッコイ）
0301.99		－その他のもの
	100	－たい（たい科のもの）
	900	－その他のもの

○ 2022年版

番号	細分番号	品名
03.01		魚（生きているものに限る。）
		－観賞用の魚
0301.11		－淡水魚
	100	－金魚（カラウス・アウラウス）
	200	－こい（キュブリ属のもの）
	900	－その他のもの
0301.19	000	－その他のもの
		－その他の魚（生きているものに限る。）
0301.91	000	－ます（物ネ・トルダ、ワコルヒュクス・ミクス、etc）
0301.92	000	－うなぎ（アング・イルラ属のもの）
0301.93	000	－こい（クテリアリョゴド・ン・イデ・ルス、etc）
0301.94		－くろまぐろ（トクス・テイヌス及びトクス・オエンタリス）
	100	－くろまぐろ（トクス・テイヌス）
	200	－くろまぐろ（トクス・オエンタリス）
0301.95	000	－みなみまぐろ（トクス・マッコイ）
0301.99		－その他のもの
	100	－たい（たい科のもの）
	200	－ぶり（セリオラ属のもの）
	900	－その他のもの

豆知識

2022年から「ぶり」の輸出額が集計できるようになったんだけど、「セリオラ属のもの」と記載されているから、「かんぱち」や「ひらまさ」も含まれているワン！



表1.長崎県における活魚輸出の推移

※2025年は確々報値、その他は確定値

年	活 魚		活ぶり		活たい		活魚その他*1	
	数量(KG)	金額(千円)	数量(KG)	金額(千円)	数量(KG)	金額(千円)	数量(KG)	金額(千円)
2002年	821,502	586,685			565,300	387,508	256,202	199,177
2003年	707,145	472,025			355,522	226,413	351,623	245,612
2004年	1,382,662	894,273			1,017,530	629,210	365,132	265,063
2005年	1,477,239	964,555			1,217,698	773,027	259,541	191,528
2006年	1,291,738	907,098			1,038,972	725,556	252,766	181,542
2007年	658,017	524,744			381,677	305,278	276,340	219,466
2008年	381,044	268,320			220,200	123,795	160,844	144,525
2009年	721,365	411,469			581,448	290,224	139,917	121,245
2010年	447,324	333,371			310,500	216,389	136,824	116,982
2011年	310,278	244,264			162,650	128,727	147,628	115,537
2012年	282,454	237,509			152,400	130,001	130,054	107,508
2013年	148,561	135,864			49,230	43,957	99,331	91,907
2014年	186,880	143,917			120,455	82,570	66,425	61,347
2015年	485,587	397,236			357,288	280,252	128,299	116,984
2016年	402,113	372,663			201,880	172,895	200,233	199,768
2017年	239,170	284,454			129,700	120,731	109,470	163,723
2018年	225,780	289,208			51,470	47,693	174,310	241,515
2019年	564,500	518,015			-	-	564,500	518,015
2020年	649,165	544,547			-	-	649,165	544,547
2021年	729,600	825,813			6,000	4,380	723,600	821,433
2022年	1,196,550	1,869,986	1,119,500	1,764,168	14,800	11,382	62,250	94,436
2023年	1,725,270	2,023,216	1,652,550	1,940,235	60,500	61,328	12,220	21,653
2024年	2,823,000	3,627,325	2,789,500	3,591,071	13,500	15,095	20,000	21,159
2025年	2,973,750	5,526,210	2,954,900	5,505,627	2,200	2,156	16,650	18,427

*1「活魚その他」は、活魚(03.01項)から、活ぶり(0301.99-200)及び活たい(0301.99-100)を差し引いた残額。
統計品目番号の設定年:活ぶり(2022年～)、活たい(2002年～)

表2-1.活ぶりの県別輸出実績(2025年確々報値)

都道府県	数量(KG)	構成比	金額(千円)	構成比
長崎	2,954,900	45.2%	5,505,627	46.7%
愛媛	1,080,990	16.5%	1,837,320	15.6%
大分	893,000	13.7%	1,462,379	12.4%
鹿児島	385,500	5.9%	735,560	6.2%
徳島	309,200	4.7%	605,924	5.1%
熊本	187,335	2.9%	321,906	2.7%
その他	726,044	11.1%	1,331,937	11.3%
全国	6,536,969	100.0%	11,800,653	100.0%

※ 蔵置場所を管轄する税関官署ベース

表2-2.活ぶりの県別輸出実績(2024年確定値)

都道府県	数量(KG)	構成比	金額(千円)	構成比
長崎	2,789,500	45.8%	3,591,071	47.4%
愛媛	1,524,530	25.0%	1,737,784	22.9%
大分	612,800	10.1%	724,059	9.6%
徳島	228,300	3.7%	292,181	3.9%
熊本	175,500	2.9%	275,950	3.6%
鹿児島	66,000	1.1%	84,501	1.1%
その他	692,323	11.4%	870,696	11.5%
全国	6,088,953	100.0%	7,576,242	100.0%

※ 蔵置場所を管轄する税関官署ベース